

鴨川市立国保病院のあり方検討にかかる基礎資料

第3回あり方検討会

2015年12月22日

(株)日本経営エスディサポート

- 0. 第2回あり方検討会の振り返り
- 1. 詳細な議論を行うにあたっての追加資料
 - ・手術に関する実績
 - ・病院に勤務する職員の方々の年齢構成
- 2. 当院のあり方パターン詳細案
- 3. その他の参考資料

0. 第2回あり方検討会の振り返り

第2回あり方検討会 議論の要点まとめ

1. 当院の診療機能のあり方について議論を行い、「2 在宅復帰支援機能強化モデル（急性期後の患者受入を強化することで、入院患者受入を増やしていく）」を中心に第3回あり方検討会で詳細を議論することになりました。

なお、議論を進めるうえで以下の点については留意することになりました。

- ・手術に関する実績
- ・病院に勤務する職員の方々の年齢構成
- ・病院に勤務する職員の方々の意向【別添資料参照】

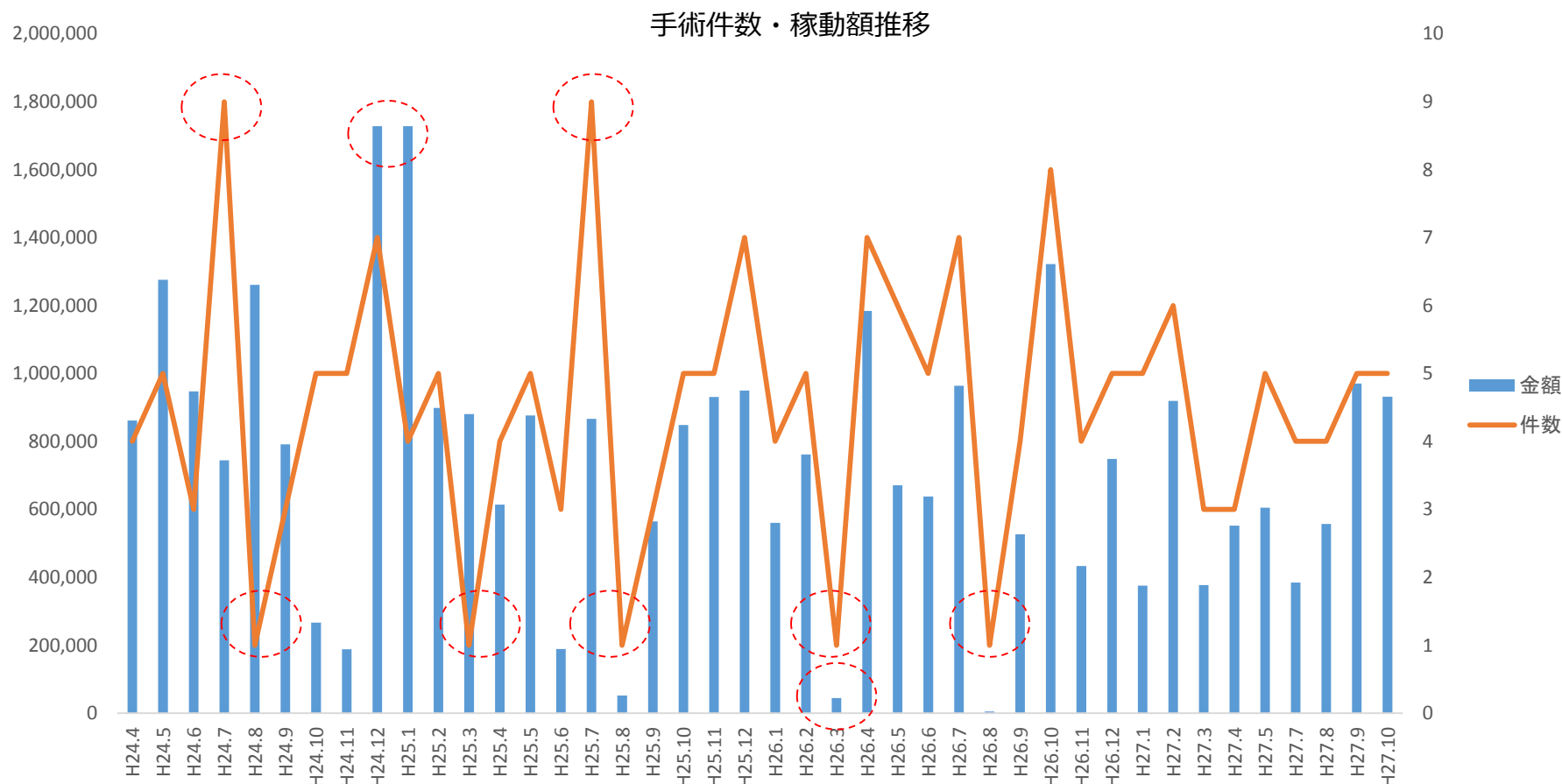
2. 近隣住民からは病院の衛生環境やサービスの質に対して不満の声も聞かれることから、患者および利用者の方々の満足度向上には、病院として引き続き取り組みを進めていく必要があることを確認しました。また、満足度向上に資する投資に関しては、積極的に行なっていくべきではないかとのご意見もありました。

3. 訪問診療、訪問看護 等の在宅診療機能の強化、介護福祉拠点としての役割を担うために必要な人員体制の整備、地域連携を推進するためのICTネットワークの構築に関しては、病院として取り組みを進めていく必要があるとのご意見がありました。

1. 詳細な議論を行うにあたっての追加資料

手術に関する実績

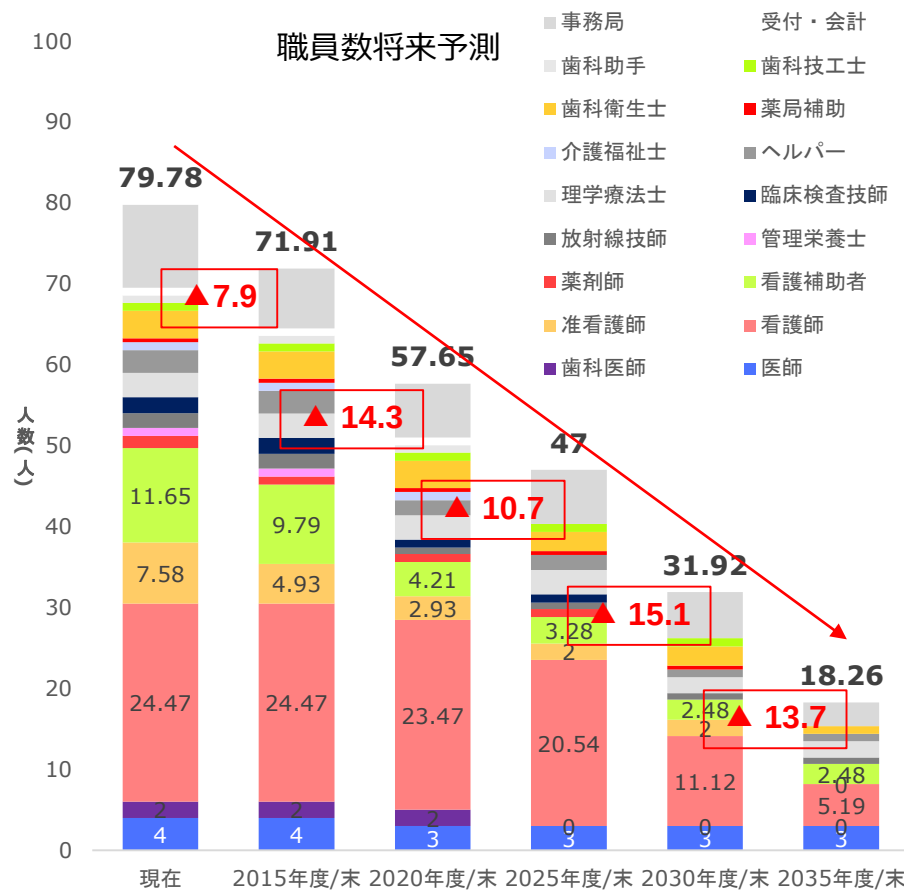
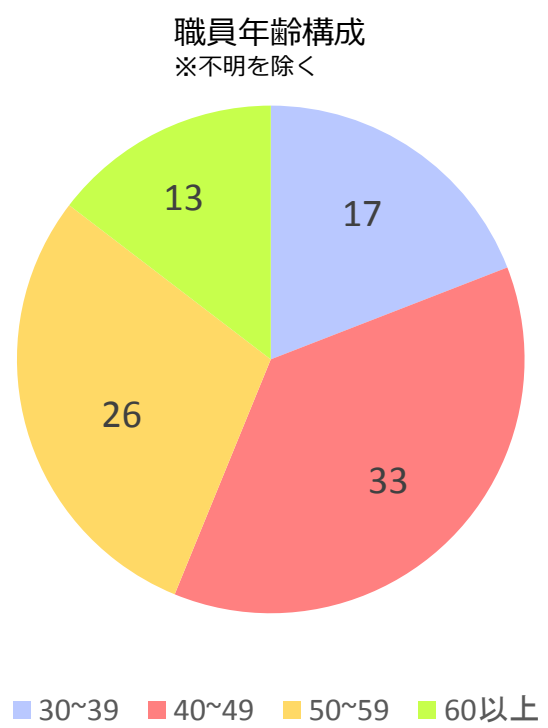
- 手術件数については、最多8件～最少1件と、月々でばらつきが見受けられます。収入面も内容による部分がありますが、200,000円～1,800,000円と増減の幅が大きく見受けられます。以後も急性期として手術を行なっていく場合は、安定的な手術患者の確保が必要となります。



病院に勤務する職員の方々の年齢構成

- ・現在の貴院における職員の年齢構成は、40代の職員が最も多く、10年以内に退職が予測される50歳以上の職員が4割を占めている状況です。
- ・2025年から2030年の5年間で16名の退職が予測され、そのうち看護職員の退職が10名となる見込みとなっています。

(正職員44名・非常勤職員 46名：計90名)



2. 当院のあり方パターン詳細案

以下のパターンでシミュレーションを実施しました。詳細は別紙をご参照ください。

<現状維持での病棟再編>

- A 一般病棟52床（地域包括ケア病床16床導入） + 療養病棟18床
- B 地域包括ケア病棟52床 + 療養病棟18床

<改修を有する病棟再編>

- C 一般病棟28床 + 療養病棟34床
- D 療養病棟44床（地域包括ケア病床16床導入）
- E 療養病棟44床

<改築を有する病棟再編>

- F 療養病棟50床
- G 療養病棟50床（地域包括ケア病床16床）
- H 療養病棟50床（地域包括ケア病床30床）

病棟機能配置イメージ図と収支結果概要 (現状維持での病棟再編)

		(現状)	(Aパターン)	(Bパターン)
3F (本館)	一般病床 (32床)	一般病床 (32床)	一般病床 (32床)	地ケア (32床)
	2F (本館)	一般病床 (20床)	地ケア(16床) 一般病床(10床)	一般病床 (20床)
	1F (別館)	療養病床 (18床)	療養病床 (18床)	療養病床 (18床)
患者数	一般	20.7(39.9)	7.9(22.0)	-
	地ケア	-	12.8(80.0)	23.4(45.1)
	療養	17.3(96.1)	17.3(96.1)	17.3(96.1)
	合計	38.0(54.3)	38.0(54.3)	40.7(58.2)
入院収入		312,842千円	315,959千円	318,070千円
経常利益		-71,991千円	-69,792千円	-77,294千円

()内は稼働率を表しています
 ※小数点第2位を四捨五入しているため、計算が一致しない場合があります。

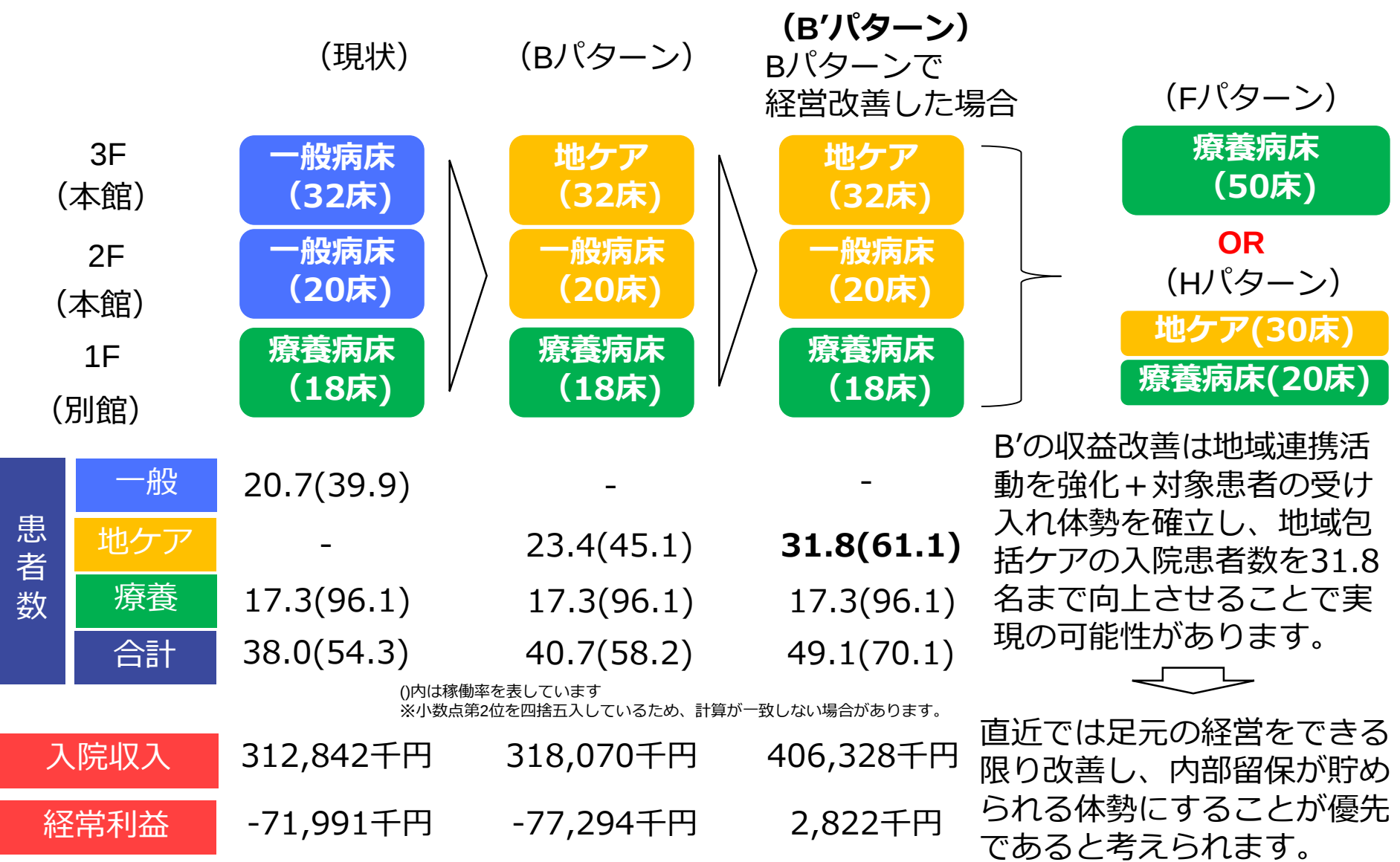
病棟機能配置イメージ図と収支結果概要
 （改修を有する病棟再編）

		(Cパターン)	(Dパターン)	(Eパターン)
3F (本館)	一般病床 (28床)		地ケア(8床)	療養病床 (28床)
	療養病床 (16床)		療養病床(20床)	
	療養病床 (18床)		地ケア(8床)	療養病床 (16床)
2F (本館)			療養病床(8床)	
1F (別館)			—	—
患者数	一般	20.7(74.1)	-	-
	地ケア	-	12.8(80.0)	-
	療養	32.1(94.4)	26.5(94.6)	-
	合計	52.9(85.2)	39.3(89.3)	41.5(94.3)
		()内は稼働率を表しています ※小数点第2位を四捨五入しているため、計算が一致しない場合があります。		
入院収入		388,633千円	255,753千円	214,350千円
経常利益		-37,682千円	-46,121千円	-32,322千円
		※改修を有するパターン（C,D,E）では改修に伴う費用及び減価償却費を除いて算出		

病棟機能配置イメージ図と収支結果概要
(改築を有する病棟再編)

		(Fパターン)	(Gパターン)	(Hパターン)
1病棟へ改築		療養病床 (50床)	地ケア(16床) 療養病床(34床)	地ケア(30床) 療養病床(20床)
患者数	一般	-	-	-
	地ケア	-	12.8(80.0)	23.4(78.1)
	療養	47.1(94.3)	32.1(94.4)	19.0(95.0)
	合計	47.1(94.3)	44.9(89.8)	42.4(84.8)
		()内は稼働率を表しています ※小数点第2位を四捨五入しているため、計算が一致しない場合があります。		
入院収入		243,169千円	284,571千円	313,789千円
経常利益		26,712千円	3,084千円	32,690千円
		※改築を有するパターン (F,G,H) では建替えに伴う費用及び減価償却費を除いて算出		

現状で有効と考えられるストーリー（案）



病棟再編のハードル

<機能（ソフト）>

①地域包括ケア病棟入院医療管理料の施設基準届出

⇒非常に多くの要件があり、特に診療録体制加算、データ提出加算などのデータを取り扱う施設基準の取得が必須であり、事務のマンパワーに一定の負担がかかる。

⇒その他リハビリテーションの提供量、在宅復帰率、重症度などの要件もある。

②機能転換によるリスク

⇒一般病床を地域包括ケア並びに療養病床にする場合、その後において一般病床に戻すことが困難に可能性がある。

③B'パターンの実現について

⇒B'の経営改善には院内の患者のみではなく、他病院との連携強化による患者数増加を見込んでいるため、営業活動の強化を図る必要がある。

<建築物（ハード）>

①療養病床増加の場合

⇒一定の病床あたりの面積確保や、談話室、食堂等の設置が要件としてあり、現在の一般病床には談話室、食堂がないため、改修費用が発生する。

②改修におけるリスク

⇒改修によって、一定のダウンサイジングが見込まれ病床を返還しなければならなくなり、その後に元の病床数、あるいは改修後からの改築の際増床することが困難になる可能性がある。

スケジュール概要

<第1回> 【経営分析報告会】・・・9月29日

内容：病院の現状を共有し、議論の土台となる共通認識を醸成する。

また、主には当院が提供すべき診療機能について意見交換を行い、
第2回以降の議論を見据えて必要な調査・資料整理事項を明確化する。

<第2回> 【診療機能についての検討、協議】・・・11月12日

内容：当院が提供すべき診療機能について、追加調査結果をふまえて
機能ごとに必要性の検討、協議を行う。

<第3回> 【あり方についての検討、協議】・・・本日

内容：第2回の診療機能についての検討、協議結果を踏まえ、具体的な診療
機能（案）と収支シュミレーション結果を弊社より報告する。
報告内容をもとに、病院のあり方について検討、協議を行なう。

→ あり方の決定
(第4回で報告資料の確認)

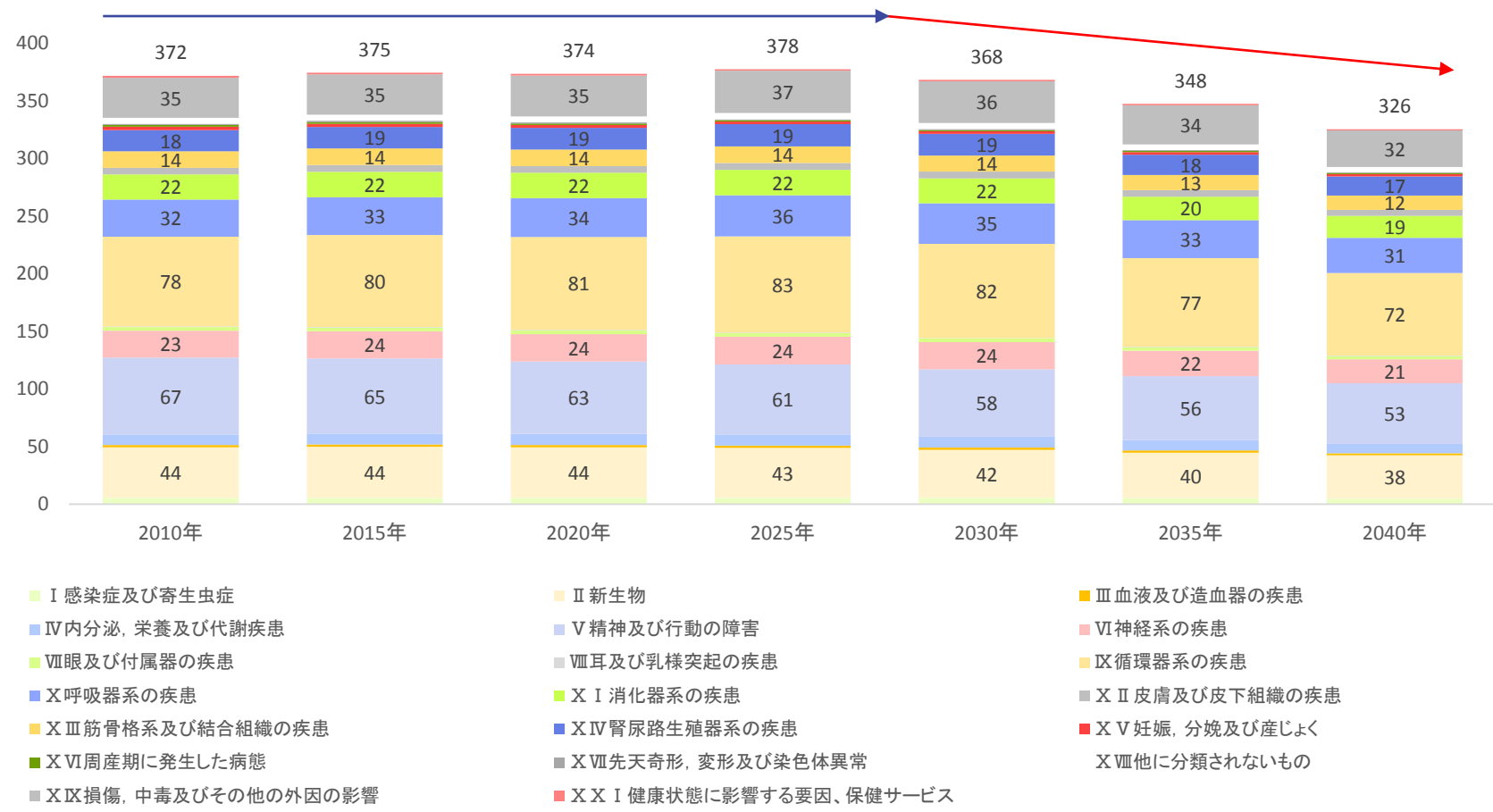
<第4回> 【あり方検討についての最終まとめ】

内容：前3回の協議内容に基づく最終まとめのご報告と最終意思決定を行なう。

3. その他の参考資料

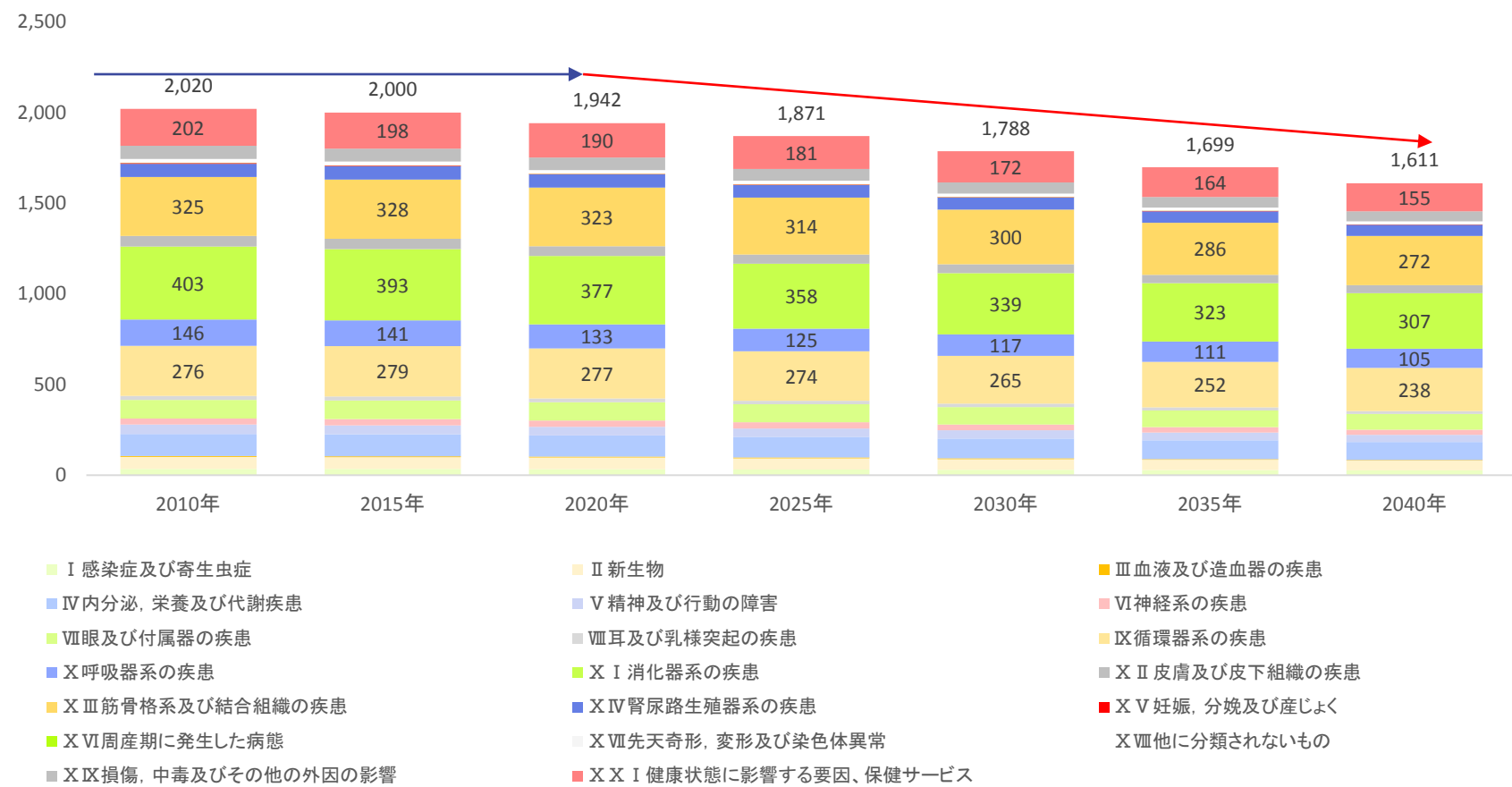
疾病別入院患者数 将来推計【鴨川市】

- ・ 疾病別（ICD大分類）入院患者数の将来推計を表しています。
- ・ 全体的には人口減少に伴って、2025年から減少が顕著に現れはじめる予測となっています。



疾病別外来患者数 将来推計【鴨川市】

- ・ 疾病別（ICD大分類）の外来患者数の将来推計を表しています。
- ・ 全体的には人口減少に伴って、2020年から減少が顕著に現れはじめる予測となっています。



近隣病院の室料差額一覧(個室)

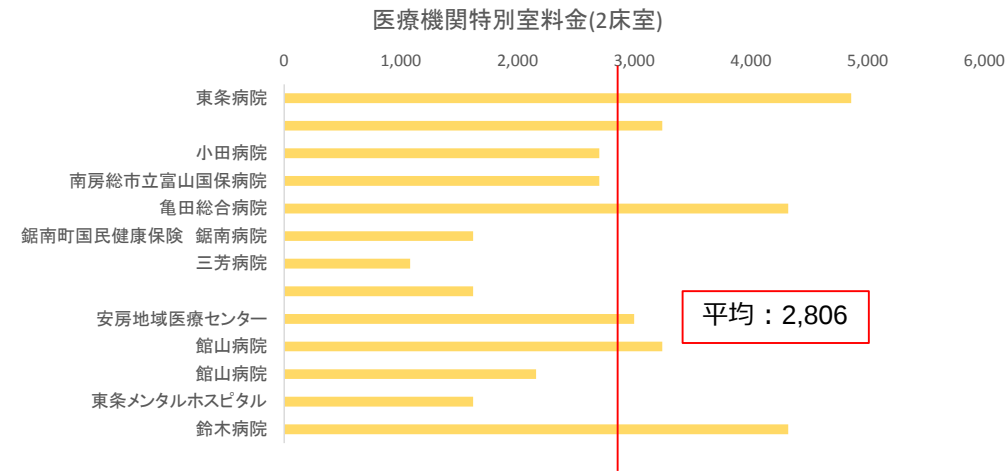


- ・ 近隣病院の個室における室料差額は、平均すると8,565円となっています。
- ・ 貴院の室料差額1,080円～6,400円となっており、比較的安価となっています。

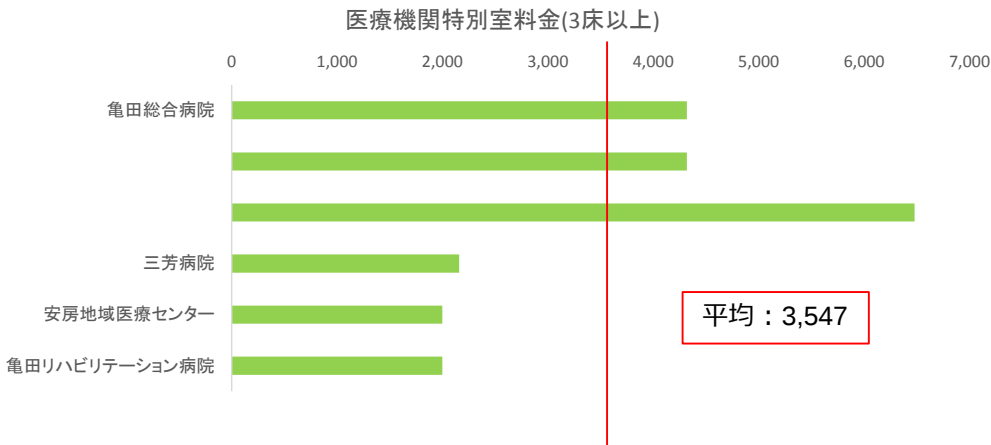
施設名称	料金 (円)	施設名称	料金 (円)
鴨川市立国保病院	6,400	鋸南町国民健康保険 鋸南病院	3,780
	5,400	三芳病院	3,240
	3,240	安房地域医療センター	15,000
	1,836		10,000
	1,080		7,000
宏和会エビハラ病院	13,000	館山病院	10,800
	8,000		6,480
	2,200		5,400
東条病院	4,860		3,240
	9,720	田村病院	6,480
小田病院	7,560	亀田リハビリテーション病院	5,000
	5,400	東条メンタルホスピタル	4,860
南房総市立富山国保病院	5,400	鈴木病院	10,800
亀田総合病院	4,320		8,640
	6,480		7,560
	10,800		6,480
	12,960	君津山の手病院	5,400
	32,400		6,480
	54,000	君津中央病院大佐和分院	3,780

近隣病院の室料差額一覧(2床室、3床以上)

- ・ 下図は近隣病院の2床室、3床以上の部屋の室料差額を表しています。
- ・ 2床室については、1,080円～4,860円と幅が広いのに対し、3床室以上の部屋については、2,000円から4,320円と平均的には高くなっています。



施設名称	料金 (円)
東条病院	4,860
小田病院	3,240
南房総市立富山国保病院	2,700
亀田総合病院	4,320
鋸南町国民健康保険 鋸南病院	1,620
三芳病院	1,080
安房地域医療センター	3,000
館山病院	3,240
館山病院	2,160
東条メンタルホスピタル	1,620
鈴木病院	4,320



No.	施設名称	料金 (円)
6	亀田総合病院	4,320
		4,320
		6,480
9	三芳病院	2,160
10	安房地域医療センター	2,000
15	亀田リハビリテーション病院	2,000